



2019年7月16日、31日放送

人工関節で痛みのない人生を

県北医療センター高萩協同病院
副院長・整形外科部長 河村 春生

司会者：「人工」と聞くだけで、怖いイメージがあります。人工関節の手術を受けても大丈夫なのでしょうか？

河村：人工関節手術には確実な治療効果があり、日本では年間に13万人以上がこの手術を受けています。確立した治療法なので、安心して手術を受けて下さい。

司会者：人工関節と聞くと、とても難しい手術のように思いますが、どうなのでしょう。

河村：もちろん簡単な手術ではなく、人工関節に慣れた医師が行うべきです。しかし、いわゆる“神の手”を必要とするような手術ではありません。

司会者：人工関節とはどのような手術ですか？

河村：加齢による変形性関節症や関節リウマチ・骨壊死などの病気により、だめになった関節の表面を人工材料に置き換えて関節の機能を再建する手術です。眼科でやる白内障の人工レンズのような感じですね。

司会者：全身どこの関節にも人工関節があるのですか？

河村：肩、肘、手首、股、膝、足首、手足の指の人工関節があります。この中で最も一般的なのが人工股関節と人工膝関節です。ここからは、人工股関節と人工膝関節にしばって話をします。

司会者：どのような症状が出たときに人工関節の手術を受けるのでしょうか？

河村：内服薬、関節内注射、リハビリ、装具などの治療を半年以上続けても痛みがとれず、歩くことが困難な場合は手術を受けた方が良いでしょう。

司会者：人工関節を入れると、痛みはとれますか？

河村：関節の痛みはほとんど無くなります。特に人工股関節の場合、「手術したことを忘れる」状態になることも希ではありません。人工膝関節は、多少の違和感が残ることがあります。

司会者：人工関節を入れると、歩けるようになりますか？

河村：人工関節によって痛みがなくなり、しっかり体重をかけられますので、歩くこ

とが困難だった方が歩けるようになります。

司会者：脚の長さについての質問です。子供の頃、股関節の脱臼があり脚が短くなっています。人工股関節手術で脚の長さを良い方と同じにできますか？

河村：脱臼や亜脱臼のある股関節に人工関節を入れるとき、股関節の位置関係を正常にします。その結果、脚の長さが伸びます。脱臼や亜脱臼の程度によって限界はありますが、左右の違いが気にならない程度になることがほとんどです。

司会者：膝の変形についての質問です。年齢とともに、膝が変形してきました。ひどいO脚になってしまいましたが、人工膝関節をやれば脚が真っ直ぐになりますか？

河村：人工膝関節を入れるときに変形の矯正を同時に行うので、脚は真っ直ぐになります。

司会者：人工関節は10年しか持たないと聞きます。実際は何年ぐらいでだめになるのでしょうか？

河村：人工関節が進歩したので、手術後の合併症がなければ最低でも20年は持ちます。うまく使えば30年以上持つことも十分期待できます。

司会者：人工関節には、最近どのような進歩があったのでしょうか。

河村：人工関節の大きな問題は弛みと摩耗でした。昔の人工関節は数年以内に弛むことも希ではありませんでしたが、人工関節の材質とデザインの改良によって弛みは劇減しました。多くの人工関節はプラスチック（ポリエチレン）と金属が相対して関節の摺動面を作ります。昔はポリエチレンが1年間に0.1から0.2ミリくらい摩耗しましたが、現在は0.03ミリ以下になっています。摩耗量が多いと、人工関節を支える骨が吸収される現象が出ます。これを骨溶解と言いますが、ポリエチレンの改良後はほとんどなくなりました。

司会者：人工関節の手術に年齢制限はありますか。

河村：50歳未満の場合は、他に良い治療法がない場合に限り人工関節手術を行います。患者さんの年齢が若ければ若いほど、将来再手術が必要になる可能性が高いからです。高齢の方は、健康状態が良く認知症がなければ90歳代でも人工関節手術を行えます。

司会者：人工関節の手術を先延ばしにして、何か悪いことはありますか。

河村：30分以上歩いて普通に運動が出来れば先延ばしにしてもかまいません。しか

し、関節に痛みがあると歩行と運動が十分出来ません。長年そのまま過ごすと、筋肉が衰え、骨が弱くなり、関節が硬くなります。このような筋萎縮・骨粗鬆症・関節拘縮は手術後のリハビリで何とかできるというものではありません。あまり長く待ちすぎるのも考え物です。

司会者：それでは、人工関節の手術に“手遅れ”はあるのでしょうか。

河村：例えばガンなどの病気と違い、変形性関節症や関節リウマチに対する人工関節手術には手遅れはありません。しかし、あまりにも変形が進んでいると、手術後の関節機能（例えば可動範囲）が期待したほど良くなる場合があります。

司会者：人工関節の手術にはどのような危険性がありますか。

河村：どんな手術でも100%安全と言うことはありませんが、現在の医療水準では合併症の起こる確率が高いわけではありません。手術一般の合併症として、傷の化膿（術後感染）、傷の治りが悪い（縫合不全）、神経と血管の損傷、エコノミークラス症候群（肺血栓塞栓症）があります。人工関節に特有の合併症には、人工関節周囲の骨折があります。人工股関節には手術後の脱臼もあります。

司会者：人工関節の手術後に出来ることと出来ないことがあると思います。まず、日本人にとっては大事な和式の生活はどうでしょう。

河村：股関節と膝関節で違いがあります。股関節の場合、背骨や膝などに障害がなければ、正座や和式トイレと言った和式の生活ができます。膝関節の場合、正座としゃがみ込みができる人は少ないです。

司会者：人工関節の手術後にどんな仕事ができますか。

河村：重労働以外の仕事はできます。立ち仕事や軽作業はもちろん可能です。膝をつくことや、しゃがむことが必要となる草取り・庭仕事・畑仕事には工夫が必要です。

司会者：人工関節の手術後にどんな運動ができますか。

河村：水泳、ゴルフ、自転車、カヌー、ダンス、ハイキング、スピードウォーキングはできます。手術前からの十分な経験があれば、ダブルスのテニス、乗馬、スキー、スケートも可能です。しかし、ジョギング・マラソン・多くの球技など、走ることが含まれる運動はお勧めしません。また、コンタクトスポーツと言って、他の人と直接ぶつかるようなスポーツ（格闘技、サッカー、ラグビーなど）も勧められません。

司会者：次は金属アレルギーについてです。金属アレルギーがあっても、人工関節を入れることはできますか。

河村：金属アレルギーに対応した機種を選べば、ほとんど大丈夫です。

司会者：では、人工関節を入れたあとにMRI検査を受けられますか。

河村：人工関節の材料には磁性がないので、MRI検査を行うことができます。

司会者：最後に、治療費について伺います。人工関節の治療費は高いのでしょうか。

河村：高額療養費制度が利用できます。標準的な収入の世帯の場合、入院1ヶ月当たりの自己負担額は8万7千円程度です。